

会議名	第2回地域活動交付金分科会		公開 (一部非公開)
日時	令和3年3月16日(火) 午後7時30分～午後8時15分	場所	一鉄田公民館 2階集会室
出席者	(委員) 伊田雅美、前澤賢吉、浅見敏行、犬塚孝好、松山立夫、山下誠裕、 松井真理、小林正子、山本いづみ、井上こずえ、太田智亮、建部彰生、 勝木深雪		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) なし	傍聴者	0名
配布資料	次第		

議題・議事・発言等（要点記録）

<p>1 開会 分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 採点結果の共有、審議の非公開について 交付金審査における採点結果の共有、審議については、その結果を各申請団体へ公平に公表するため、非公開とすることとなった。</p> <p>(2) 採点結果の共有、審議について（非公開） 事務局より、各事業の採点票の集計結果や採点票に記入された意見、採点票に「1」が付けられた評価指標について報告を行い、それぞれの事業の申請経費の妥当性等について審議した。 なお、採点票に記入された意見については事務局で取りまとめて申請団体へ報告することとなった。</p> <p>(3) 地域活動交付金の二次募集について 審査結果について地域協議会の議決前ではあるが、地域活動交付金分科会としての意見をまとめることとして、協議を行った。その結果、二次募集は行わないこととして、地域活動交付金分科会の意見はまとまった。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 書面審査を終えて 今年度、新型コロナウイルスの感染拡大した状況により、地域活動交付金の審査を書面審査で実施したことに対する各委員からの意見を聞き取り、共有した。 <主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 他の審査員が申請に対してどのように考えているかがわからなかった。 申請団体へ書面で質問する際に応援の意見も多く出していただいたので、それを団体へ通知する意見にも追加してはどうか。

- ・資料を見て判断するのは難しく、苦慮した。
- ・コロナ禍でやむを得ないが、事務局での書類作成が大変だったかと思う。審査資料を読み返しながら判断していくのが大変だった。公開審査会での審査が望ましい。
- ・審査資料だけでは、事業内容の様子がわかりにくい。DVD では、審査会で説明を聞くよりも熱意が伝わりにくい。
- ・DVD よりも実際に事業説明を聞ける方がいい。私は2年目である程度様子がわかっていたが、1年目だったら様子がわからず不安を感じると思う。
- ・プレゼンで聞きたいことを聞けない。審査会に向けて、事前に分科会をやってほしかった。ただ、今回実施した方法でも悪くないこともある。
- ・審査資料やDVD だけで審査するのは難しい。
- ・プレゼンを聞くのが初めてだった。コロナ禍の状況でプレゼンを見る方法としては、DVD しかなかったのではないかと思う。
- ・DVD を何回か見て判断した。審査会では1回きりしか聞けないが、DVD では見直すことができるという面もあった。
- ・審査資料だけでは判断しづらかった。他の方の意見を聞けない中、他の意見に流されずに自分の意見を反映することができた。
- ・審査会に申請団体が集まってプレゼンしてもらう方がすぐに比較や判断がしやすい。ただし、DVD では何回も見直すことができた。プレゼンについて、年齢が高い方ではハードルが高いと感じ、交付金の申請に躊躇すると聞くことがある。申請を考えている高齢者にも配慮できるとよい。
- ・審査資料自体は、審査するにはいい材料。ただし、工事費を挙げている申請について、上限30万円で事業ができるか心配。工事を発注するには上限額が30万円では少ないのではないか。今の上限額をこのまま続けていくのは疑問。

(2) 今後の予定について

次回の地域協議会を令和3年3月19日（金）午後7時30分から一鍬田公民館で開催することを確認した。

4 閉会